Kodak alaris

Kodak N2040/N2050シリーズスキャナー

ユーザーズガイド



目次

目次

目次 1

安全性について 3
ユーザーへの注意事項 3
騒音 3

1 概要 4
スキャナーモデル 4
スキャナーの仕様 5
本ガイドのイラストについて 5
補足資料 6
アクセサリ 6
スキャナーのコンポーネント 7
前面 7
背面 9
底面 10
内部 11

2 設置 12
スキャナーを箱から出す 12
スキャナーのセットアップ 12
追加のセットアップ手順： 13
フェライトコアの取り付け（イーサネット） 14
スタッキングディフレクターアクセサリの取り付け 15
ドライバソフトウェアのインストール 17

3 スキャン 19
基本的なスキャン 19
スキャナーコントロール 19
スキャナーの準備 20
原稿のスキャン準備 20
スキャンアプリケーション 21
スキャナーのディスプレイとボタン： 24
N2000ディスプレイスクリーンの共通機能 24
準備完了 25
スキャン中 26
待機中 26
一時停止 26
スキャナーの設定 27
原稿の処理における課題と解決法 28
入力トレイの容量 28
原稿のスキャン準備 28
確実な給紙のための設定 30

サイズの混在する原稿 30
軽量な原稿 31
NCR用紙 31
小さなアイテムをスキャンする 31
長い原稿 32
破損しやすい原稿または特大サイズの原稿 33
重送 36
依然として問題が解決しない場合 37
画質の向上 37
推奨される設定 37
他のパーフェクトページ設定 37
スキャナーの電源をオフにする 38
「起動」操作 38
オフの状態から 38
スタンバイ/スリープの状態から 38

4 メンテナンス 39
スキャナーのメーター 39
スキャナーカバーの開け方 40
クリーニング手順 40
クリーニングの順序 41
トランスポートクリーニングシートによるクリーニング 41
セパレーションローラのクリーニング 42
フィードローラのクリーニング 44
搬送ローラのクリーニング 47
イメージングガイドのクリーニング 48
交換手順 48
セパレーションローラの交換 49
プリセパレーションパッドの交換 50
アージングローラタイヤの交換 51
フィードローラの交換 52
消耗品 53
お客様が交換可能な部品とアクセサリ 53
アップデート 54
技術サポートへのお問い合わせ 55

付録A 規制に関する情報 56
注 56
このセクションの未翻訳の情報は、その地域のお客様にのみ適用されます。 56
KODAK N2040/N2050スキャナーは、業務用/商業用です。 56
環境に関する情報 56
仕様 57
有毒有害物质或元素名称及含量标识表 61
N2040/N2050シリーズスキャナのEMCに関する声明： 62

安全性について

ユーザーへの注意事項

- スキャナーは、3.2 kgの荷重に耐えられる安定した平らな場所に設置してください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気のある場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーと電源装置は室内の乾燥した場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから1.52m以内にあり、緊急時に簡単に接続できることを確認してください。
- 電源アダプタがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。しっかり接続されていないと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを傷つける、結ぶ、切る、改造することはしないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーに付属のACアダプタのみを使用してください。スキャナーのACアダプタを別の製品で使用しないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外し、技術サポートへ問い合わせてください。
- スキャナーやAC電源アダプタを分解または改造しないでください。
- 電源コードとインターフェースケーブルを接続したままで、スキャナーを移動しないでください。電源コードとケーブルが破損する場合があります。スキャナーを移動する前に電源コードをコンセントから抜いてください。
- Kodak Alaris が推奨するクリーニング手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナを使用すると、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動してしまい、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- **化学製品の安全データシート**（SDS）**は、Kodak Alarisのウェブサイト**（https://corporate.kodakalaris.com/About-Us/Environment,-Health-and-Safety）**で入手できます。ウェブサイトからSDSにアクセスする際には、カタログ番号が必要になります。消耗品とカタログ番号については、「消耗品」を参照してください。**
- このデバイスは、ビジュアルディスプレイのある作業環境において、直接的な視界内での使用を対象としていません。ビジュアルディスプレイのある作業環境において妨げとなる反射を避けるため、このデバイスを直接視界に入る場所に置かないでください。



警告ラベル
注意：稼働中の部品には手を触れないでください。

騒音

Maschinenlärminformations-Verordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[騒音規制 － 3、GSGV
操作者位置の騒音は70 dB（A）未満。]

1 概要

スキャナーモデル

本ユーザーズガイドには、KODAK N2040、およびN2050スキャナーの使用とメンテナンスに関する情報と手順が記載されています。

KODAK N2000スキャナーは、個人やワークグループでの使用に最適なコンパクトな両面カラードキュメントスキャナーです。毎分40～50枚のA4/レターサイズの原稿をスキャンできます（200/300 dpi、白黒二値、グレースケール、カラー）。入力トレイには100枚の原稿をセットできます。デュアルLED間接光により、優れた画質が実現されます。

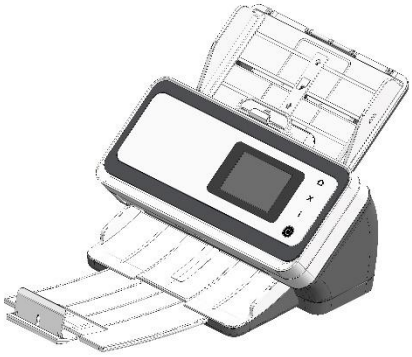
これらのスキャナーモデルはすべて、お使いのモデルのサポートページで入手できる、無料でダウンロード可能なKODAKスキャンアプリケーションを使用することができます。KODAKスキャンアプリケーションを使用すると、ボタンを押すだけで、原稿をスキャンしてさまざまな出力先に送信できます。

スキャナーは、TWAINドライバインターフェースを使用して、他のPCベースのスキャンアプリケーションと併用することもできます。

スキャナーは以下のフラットベッドアクセサリもサポートします。

- KODAKパスポートフラットベッド
- KODAK統合A4/リーガルサイズフラットベッド

KODAK N2040/N2050スキャナー



これらのスキャナーは、USB接続またはイーサネット接続に対応しています。そのため、ネットワーク上の複数のPCから1台のスキャナーにアクセスできます。

スキャナー本体に搭載されたタッチスクリーンディスプレイを使用して、スキャナーの監視や操作を行うことができます。

N2040モデルは毎分40ページ、N2050モデルは毎分50ページのA4/レターサイズ原稿をスキャンできます（縦向きページの両面スキャン、200/300 dpi、白黒二値、グレースケール、カラー）。

スキャナーの仕様

最新のスキャナー仕様については、こちらをご覧ください： www.KodakAlaris.com/go/N2000

ご使用になっている特定のスキャナーモデルの仕様へのリンクを確認してください。

注記：Webサイトに掲載されている仕様は、最新のスキャナードライバおよびファームウェアバージョンを参照しています。

本ガイドのイラストについて

本ユーザーズガイドでは、すべてのKodak N2040/N2050スキャナーに関する情報と手順について説明します。お使いのモデルの外観が、特定のイラストとは若干異なる場合があります。特に指定がない限り、本ガイドの情報はN2000スキャナーの全モデルに適用されます。

補足資料

本ユーザーズガイドの他に、下記の資料も用意されています。

- **インストールガイド —** スキャナーのインストール手順を簡潔に図解で示します。
- **リファレンスガイド —** スキャナーのクリーニング手順を簡潔に図解で示します。本ガイドをダウンロードして、スキャナーの近くに保管してください。
- **Kodakスキャンアプリケーションのユーザーガイド —** 無料でダウンロードできるKodak**スキャンアプリケーション**の使用方法に関する情報です。
- **TWAINヘルプ —** TWAINデータソースドライバの使用方法に関する情報がヘルプで提供されています。ドライバを選択し、ユーザーインターフェイスが表示された後に、F1キーを使用してください。
- お使いのスキャナーのマニュアルは、該当モデルのサポートページに掲載されています。

  www.KodakAlaris.com/go/N2000support

アクセサリ

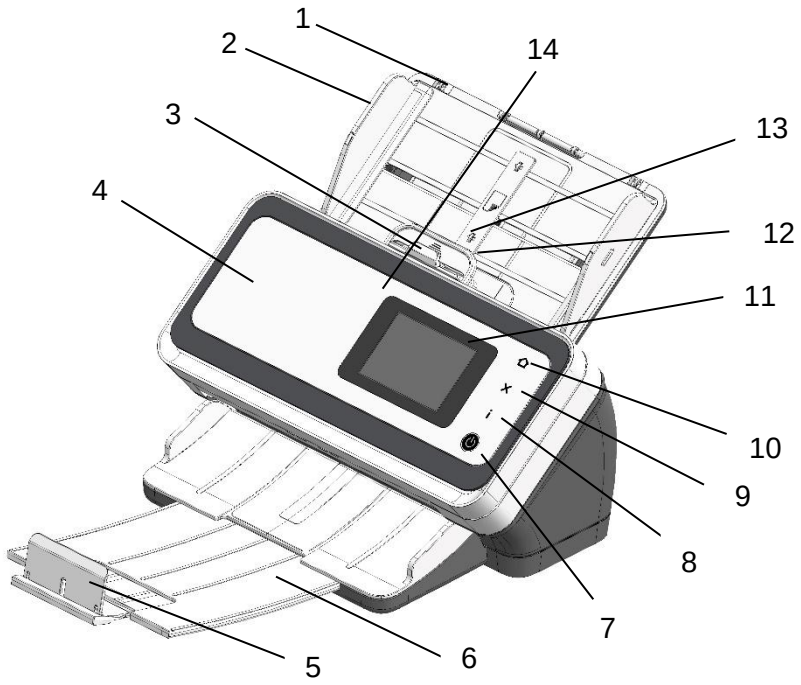
各種サイズのフラットベッドスキャナーや、デリケートなページや特大サイズのページをスキャンするためのスリーブなどのアクセサリは、当社のウェブサイトでご覧いただけます。

www.KodakAlaris.com/go/N2000

スキャナーのコンポーネント

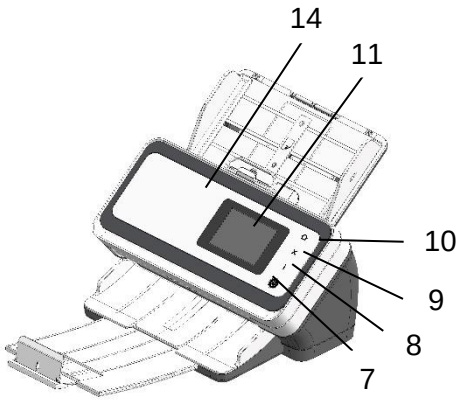
前面

この図はN2040/N2050モデルスキャナーを示しています。



1. **入力トレイ** — 入力トレイは最大100枚のA4 80g/m²の原稿をセットでき、最長でリーガルサイズ（355.6mm）の原稿に合わせて引き伸ばすことができます。長尺原稿モードでは、最長3mの原稿に対応します。(長い原稿には、入力トレイの背面から垂れ下がらないように支える追加のサポートが必要です。入力トレイの拡張図については、**21ページの「スキャナーの準備」**を参照してください)
2. **サイドガイド** — サイドガイドはスキャンする原稿の幅に合わせて、外方向または内方向に移動して調節できます。レターサイズやA4サイズの原稿では、サイドガイドを固定できます。**21ページの「スキャナーの準備」を参照してください。**
3. **ギャップリリース** — 特別な処理を必要とする原稿（分厚い原稿、封筒、硬い素材のカードなど）に合わせて、フィードローラとセパレーションローラ間のスペースを手動で調整できます。ギャップリリースの使用時には、ギャップリリースを引き出して特殊な原稿を給紙します。終了したら、ギャップリリースを元の位置に押し戻します。
4. **スキャナーカバー** — このカバーを開くと、イメージング領域、フィードローラ、セパレーションローラなど、内部のコンポーネントにアクセスできます。
5. **エンドストップ** — スキャン時に持ち上げると、出力原稿を簡単に収納できます。

前面



6 **出力トレイ —** スキャン済みの原稿を収納します。出力トレイを引き伸ばすと、最長35.56cmの原稿を収納できます。長い原稿の場合、エンドストップは下げた状態にしてください。

7 **電源ボタン —** スキャナーをオンまたはオフにするには、このボタンを押します。スキャナーの電源を入れると、電源ボタンが点灯します。スキャナーカバーを閉める必要がある場合など、注意が必要な状況になると、点灯していたボタンが点滅します。スキャナーが節電モードになると、ゆっくり点滅します。

8 **iボタン —** スキャナー情報の画面が表示されます。

9 **Xボタン—** この多機能ボタンは、スキャンジョブの終了または一時停止、あるいはメニューのキャンセルに使用できます。この機能は、スキャナー操作のタイミングによって異なります。

10 **ホームボタン —** スキャナーのホーム画面に戻ります。KODAKスキャンアプリケーションの場合は、スキャンセットアップのリストが表示されます。PCでスキャンを開始する必要があるアプリケーションの場合は、[準備完了]画面が表示されます。

11 **スキャナー画面 —** スキャナー情報と制御をカラーグラフィック表示する大型タッチスクリーン。この画面では、スキャナーでスキャンを開始できるKODAKスキャンアプリケーションにアクセスできます。

注記：

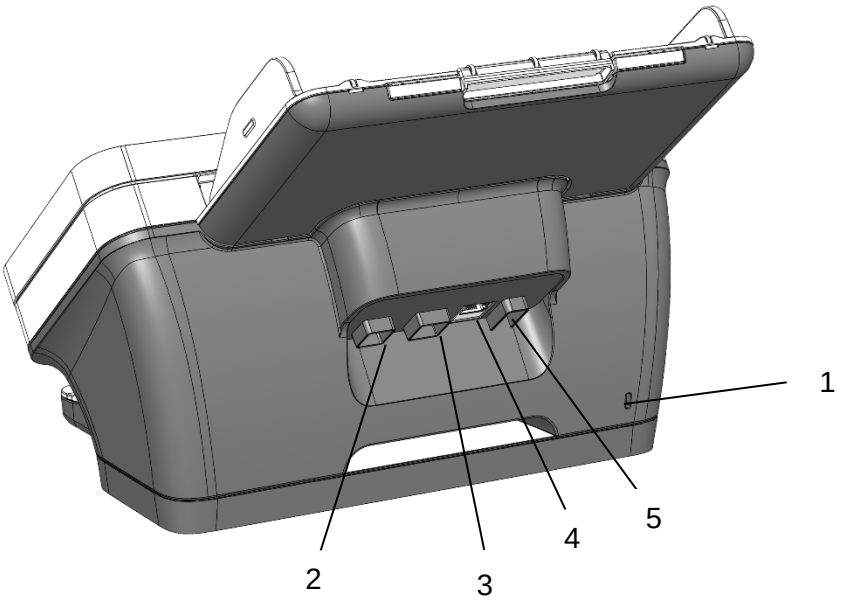
- スキャナーのタッチスクリーンで [実行]、[上方向]、[下方向] の機能を使用できます。
- 本製品のタッチスクリーンは固定角度設計のため、環境によっては周囲の光の反射やディスプレイのコントラスト低下により、視認性が低下する場合があります。 画面の視認性を向上させ、操作を容易にするために、機械の適切な設置場所と使用方法を守ることをお勧めします。
- タッチスクリーンのクリーニング方法：清潔で糸くずの出ない布、またはクリーニングワイプのみを使用してください。 ペーパータオル、ティッシュペーパー、粗い布などは研磨性があり、永久的な傷を残す可能性があるため、使用しないでください。 画面を小さな円を描くように優しく拭いてください。 強く押さないでください。

12 **スキャナーカバーリリースレバー —** スキャナーを開き、クリーニングや紙詰まりを取り除くために、搬送路にアクセスします。

13 **ID カードポジショニング —** 小型のカード（運転免許証やその他のクレジットカードサイズのIDカードなど）1枚を横向きでスキャンする際に使用します。クレジットカードの正確な位置については、32ページの「小さなアイテムをスキャンする」を参照してください。

14 **ここを押してスキャナーカバーを閉じます。**

背面



1 **セキュリティロックポート —** セキュリティロックをスキャナーに接続できます。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などでご購入ください。

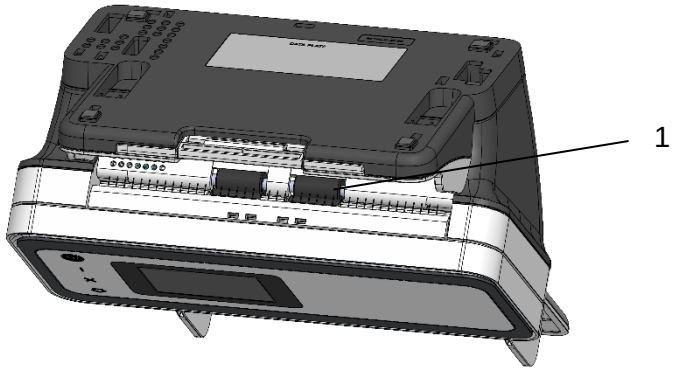
2 **電源ポート —** 電源をスキャナーに接続します。

3 **USB 3.1スーパースピードポート —** スキャナーをPCに接続します。

4 **イーサネットポート —** スキャナーをネットワークに接続します。

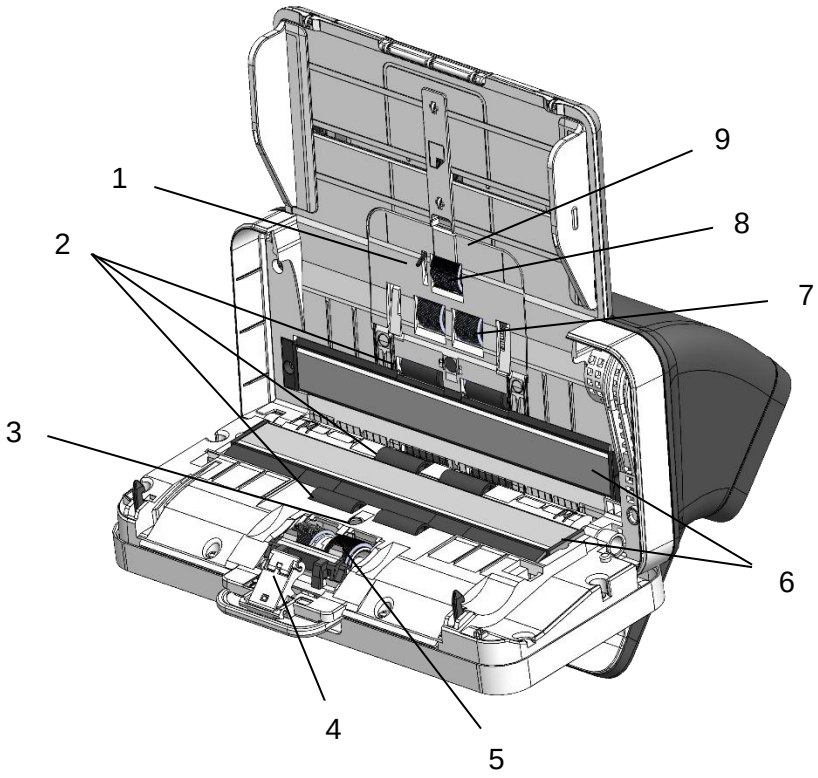
5 **USBポート —** スキャナーをKODAK一体型またはパスポート型フラットベッドに接続します。

底面



1 **搬送ローラ —** 搬送ローラは8個あります。搬送ローラは6個あり、スキャナー内部から清掃する必要があります（**11ページの「内部図」を**参照）。このうち2個は下側から清掃する必要があります。

内部



1 **用紙センサー —** 入力トレイにセットされた原稿を検出します。

2 **搬送ローラ —** 6つのローラに加え、 **10ページの「底面図」**に写っている2つのローラが、スキャナーを通して用紙をスムーズに搬送するのに役立ちます。

3 **重送センサー —** 重送された原稿や、スキャナー内でしわになっている原稿を検出します。

4 **プリセパレーションパッド —** 入力トレイから一度に1ページを給紙するのに役立ちます。

5 **セパレーションローラ —** さまざまなサイズ、厚さ、素材の入力原稿をスムーズに給紙し、分類します。

6 **イメージンググラス —** イメージングが実行されるスキャナーの領域です。

7 **フィードローラ —** さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙し、分類します。

8 **アージングローラ —** 入力トレイからスキャナーに次の原稿を給紙します。

9 **フィードローラカバー —** フィードローラにアクセスできます。

2 設置

スキャナーを箱から出す

以下の手順に従ってスキャナーを箱から出し、セットアップの準備を整えます。

1. スキャナーの箱を開きます。
2. スキャナーの箱から中身をすべて取り出します。
3. スキャナーから配送用のテープをすべて剥がします。
4. *インストールガイド*を見つけて開きます。
5. **スキャナーの箱の中身を確認します。(インストールガイドの左パネルを参照)**

スキャナーのセットアップ

*インストールガイド*の以下の手順に従います。

1. 入力トレイを取り付けます。
2. 正しいACプラグアダプタを電源に取り付けます。電源をスキャナーに取り付けてから電源コンセントに差し込みます。

   注記：この時点では、スキャナーに他のケーブルを接続しないでください（USB など）。いつ接続するかは、適切なタイミングで指示されます。

3. スキャナーの前面にある [電源] ボタンを押してスキャナーの電源を入れます。⏻

追加のセットアップ手順：

*インストールガイド*の上記の手順に加えて、スキャナーのディスプレイを使用してスキャナーのネットワーク設定を行う必要があります。

スキャナーが事前に設定されていない場合は、言語選択画面が表示されます。スキャナーが事前に設定されている場合は、スキャナーをリセットできるためこのセットアップを再開します。

- スキャナーのディスプレイのを押して [設定] メニューを開きます。
- [リセット] までスクロールダウンして押します。
- 表示される指示に従ってください。

注記：[設定] メニューを使用して個々のネットワーク設定や電源設定の変更もできます。

スキャナーのディスプレイセットアップ画面を移動するには、選択を行い、右矢印を押して次の画面/ステップに進みます。前の画面/手順に戻るには、左矢印を押します。

セットアップには次の2通りの方法があります。

- 「セットアップウィザード」- スキャナーのディスプレイを使用して、スキャナーに共通の3つの設定をセットアップできます。小規模の企業またはグループに適しています。選択肢は次の通りです。
  - 有線ネットワーク：USBも使用できます。
  - USBのみ：有線アクセスがオフ/無効になっています。
- 「EasySetupドキュメントをスキャン」- 事前に作成されたEasySetup設定ドキュメントをスキャンできます。大規模なインストールに適しており、企業または複数サイト全体での一貫した使用のため、システム管理者がパラメータをセットアップできます。

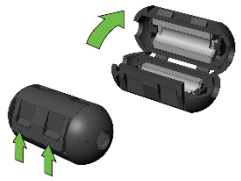
  EasySetup設定ドキュメントを作成するには、https:// easysetup.kodakalaris.comにアクセスし、指示に従ってください。使用するためPDFを印刷することも、PDFをユーザーにメール送信することもできます。

注記：ネットワークのセットアッププロセスをキャンセルするには、スキャナーの✖ボタンを押します。キャンセルすると、スキャナーは次の通りデフォルトのネットワーク設定を使用します。自動（DHCP）モードでは有線ネットワークがオン/有効になり、USBが使用可能になります。

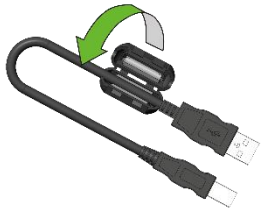
フェライトコアの取り付け（イーサネット）

イーサネットケーブルを使用している場合、付属のフェライトコアを取り付けます。フェライトコアを適切に取り付けていないと、スキャナーが近くの無線デバイスを妨害する可能性があります。

1. スキャナーに付属のフェライトコアを開きます。



2. 図に示すようにフェライトコアにイーサネットケーブルを巻き付けます。スキャナーに差し込むイーサネットケーブルの端から約7.6 cmのところにセットします。

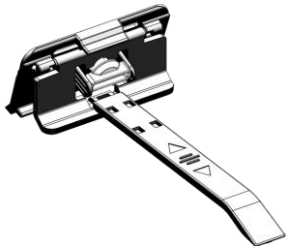


3. イーサネットケーブルを挟まないように気を付けて、フェライトコアを閉じます。



スタッキングディフレクターアクセサリの取り付け

キットの内容：



- N2000型スキャナー用スタッキングディフレクターアクセサリ1個。

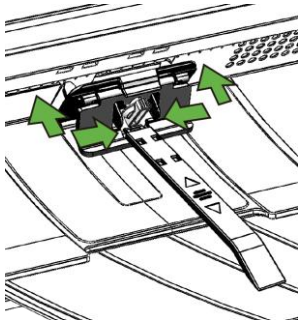
スタッキングディフレクターの使用方法：

スタッキングディフレクターアクセサリはスキャナーカバーの
前下端に取り付けます。スキャナーから排出される用紙が順番通りのままで
正しくスタックするのに役立ちます。

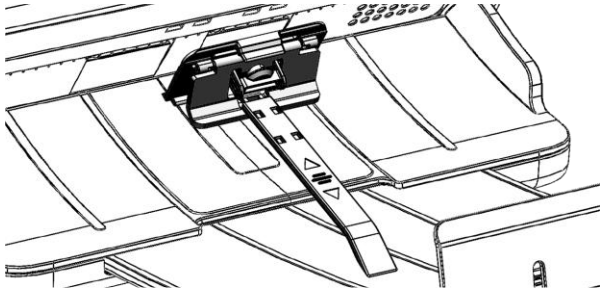
取り付け方：

1. ロックノブを垂直にします。

2. スタッキングディフレクターをスキャナーカバーの前下端より少し手前の低い位置に保持し、その際脚がスキャナーから離れた方向を向くようにします。
3. ディフレクターブラケットにはタブが 4 つあります。これらのタブはスキャナーカバーの下端の 4 つの溝に揃える必要があります。
4. タブが揃ったら、ロックノブの左右にある小さな接点をつまみます。接点をつまんだまま、4 つのタブを溝に押し込みます。スタッキングディフレクターがスキャナーカバーの下端を背にして取り付けられたら、締め付けを止めます。



5. ロックノブを水平にしてロック位置にします。この時点でスタッキングディフレクターはスキャナーに固定されています。スタッキングディフレクターは正しく取り付けられていると、部分的に延長した出力トレイに接触します。



ドライバソフトウェアのインストール

1. コンピューターがインターネットにアクセスしている場合は、スキャナーの製品Webサイトからドライバソフトウェアを取得してください。

   - スキャナーの製品サポートWebサイトにアクセス：
     www.KodakAlaris.com/go/N2000support

   - コンピューターのオペレーティングシステムに一致するドライバセクションまでスクロールします。

   - ダウンロードするファイルを選択します。Windowsの場合は、「Windows – EXE」です。Linuxの場合は、お使いのディストリビューションに適したパッケージを選びます。

   - ドライバソフトウェアのインストーラを実行します。

2. スキャナーの製品Webサイトからドライバ（TWAIN）をダウンロードできず、コンピューターが Windowsオペレーティングシステムを実行している場合：

   - スキャナーの箱に入っているディスクをコンピューターのディスクドライブに入れます。

   - コンピューターが自動的にインストーラを開始しない場合は、ディスクを参照してset_up.exeを実行します。

3. 「KODAK N2040/N2050シリーズスキャナー」のドライバソフトウェアのインストール手順に従ってください。

利用可能なKODAKスキャンソフトウェア

使いやすいKodakスキャンアプリケーションは、お使いのスキャナーで作業できるようにカスタマイズされています（以下の説明を参照）。スキャナーの製品サポートWebサイトからダウンロードできます。

www.KodakAlaris.com/go/N2000support

スマートタッチ

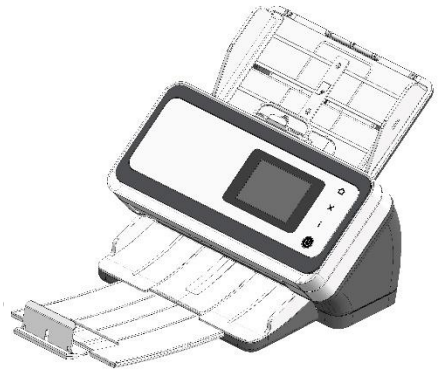
使いやすいアプリケーションで、原稿をスキャンし、デジタル化されたドキュメントを検索して表示できます。

3 スキャン

基本的なスキャン

スキャナーコントロール

スキャナーのカバーには、タッチスクリーンとカラーディスプレイと4つのボタンがあります。

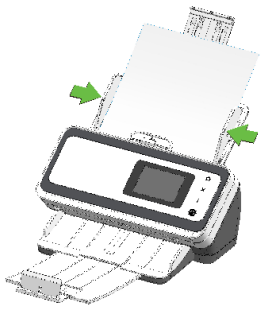


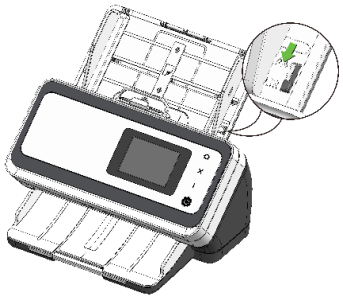
電源ボタン⏻は、スキャナーの電源オン/オフに使用します。

詳細については、**25ページの 「スキャナーのディスプレイとボタン」**を参照してください。

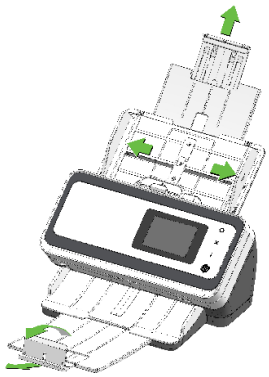
スキャナーの準備

1. スキャナーの電源が入っており、スキャンの準備が整っている（電源LEDが点灯している）ことを確認します。





2. サイドガイドを外方向または内方向に移動して調節し、スキャンする原稿のサイズに合わせます。レターサイズまたはA4サイズの原稿をスキャンする場合、サイドガイドは右の差し込み図にあるスイッチを使用して原稿の最大幅を制限できます。スイッチはレターサイズの位置に表示されています。
3. 30ページの**「原稿のスキャン準備」**のステップ番号6を参照してください。
4. 必要に応じて原稿の長さに合わせて、入力トレイと出力トレイを調節します。出力トレイを引き伸ばすと、最長35.56 cmの原稿に対応できます。出力原稿を上手く収納するため、エンドストップを使用できます。必要に応じてこのエンドストップを持ち上げ、35.6cmまでの原稿をスキャンします。長い原稿をスキャンするときは、エンドストップを下げておきます。**33ページの「長い原稿」を参照してください。**



原稿のスキャン準備

詳しいヘルプについては、次のセクションを参照してください。

- **29ページの「入力トレイの容量」**
- **29ページの「原稿のスキャン準備」**

本章の後続のセクションでは、硬い素材のカードや、さまざまなサイズが混在した原稿セット、NCR用紙などのスキャン方法について、推奨事項を説明しています。

スキャンアプリケーション

KODAKスキャンアプリケーションでの最初のスキャン

KODAKスキャンアプリケーションは、スキャナーを購入するとダウンロードでき、次のような一般的なスキャンタスクを迅速かつ容易に実行できます。

- 印刷済みレポートからサーチャブルPDFを作成する
- 請求書をスキャンして、他の請求書とともに保存する
- 写真をスキャンしてプレゼンテーションに追加する

KODAKスキャンアプリケーションがインストールされている場合は、次の手順でドキュメントの出力ファイルを作成できます。KODAKスキャンアプリケーションで可能なスキャンオプションに関する詳細については、特定のアプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. スキャナーの入力トレイに原稿をセットします（表紙を下に向け、リードエッジから給紙できるようにセットします）。

2. スキャナーのスクロールバーを使用して、スキャナー画面に*カラーPDF*が表示されるまで上下にスクロールします。原稿の表と裏をスキャンし、カラーPDFファイルを生成します。
3. スキャナー画面を押してスキャンを開始します。

   原稿がスキャンされます。スキャンイメージを使用して出力されたPDFファイルは、フォルダに送信されます。フォルダの場所の詳細については、お使いのKODAKスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

複数のPCでスキャナーを共有する

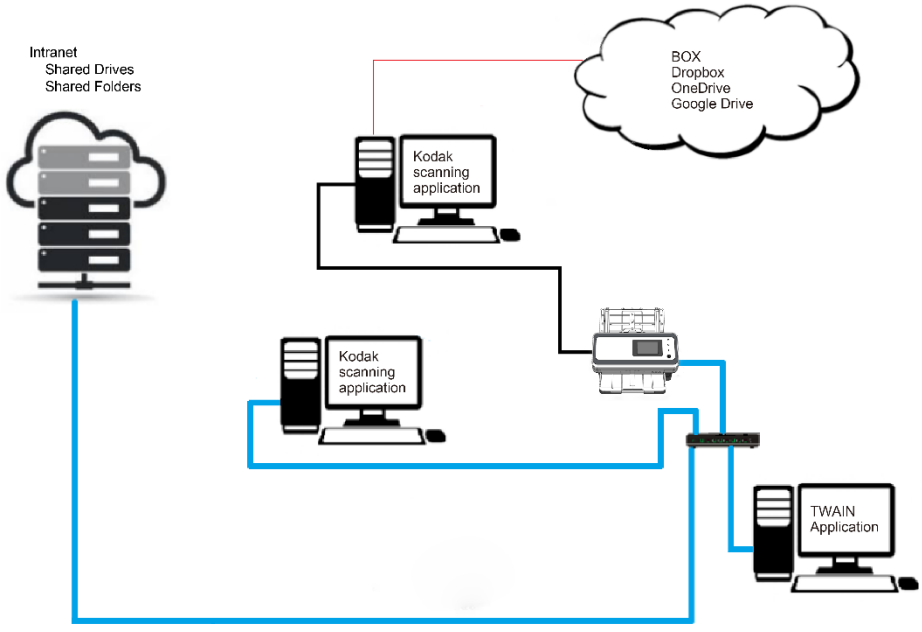
注記：このセクションは、スキャナーでスキャンを開始できるボタン対応アプリケーションによるスキャンにのみ適しています（Kodakスキャンアプリケーションが必要）。

デフォルトでは、N2000シリーズのスキャナーは

- 有線接続が可能なPCに接続できます。
- 複数PCモードでは、TWAINまたはWIAドライバを使用するPCからネットワーク接続を介して無制限にアクセスできます。ボタン対応アプリケーションをインストールしているPCが10台までスキャナースクリーンに表示されます。スキャナーのアクセスを1台のPCに制限する方法については、**24ページの「スキャナーの使用を1台のPCに制限する」**で説明しています。

複数のPCでネットワークスキャナーを共有するためのセットアップ：

1. スキャナーは有線接続用に設定されています。
2. 複数のPCまたはノートPCにN2000スキャナードライバをインストールし、KODAKスキャンアプリケーションをインストールします。
3. ユーザーはオプションで、4桁の数字PINを KODAKスキャンアプリケーションの設定に追加できます。
4. ユーザーは、各自のニーズに応じて、KODAKスキャンアプリケーションにカスタムアクティビティをセットアップできます。たとえば、各自のOne Driveアカウントにスキャンイメージを保存するアクティビティをセットアップできます。



スキャナーの使用を1台のPCに制限する

N2000スキャナーは、TWAINまたはWIAドライバを使用するPCによるネットワーク接続を介したアクセスを制限するようにセットアップすることができます。ディスプレイスクリーン（設定メニュー）またはスキャナーの組み込みのウェブサイトで*単一PCモードを*有効にすると、スキャナードライバを使用して接続できるのは「所有PC」のみになります。「所有 PC」とは、スキャナーを単一PCモードにした後に接続される最初のPCです（スキャナー接続ユーティリティを使用）。スキャナースクリーンに、所有PCのアクティビティが直接表示されます（例、アクティビティ、タスク、ボタンのショートカット）。

単一 PCモードの場合、KODAKボタン対応アプリケーションではスキャナースクリーンでのユーザー選択ができません。

単一 PCモードでは、次の方法でスキャナーを使用します。

1. スキャナーを「所有」するPCにログインします。
2. 入力トレイに原稿をセットします。
3. タッチスクリーンで、希望のアクティビティ名（例：*ライセンス*）までスクロールします。アクティビティ名を選択すると、スキャンが開始されます。
4. 出力トレイから原稿を取り出します。
5. KODAKスキャンアプリケーションまたはファイルシステムを使用して、PC上のイメージにアクセスします。

他のスキャンアプリケーション

KODAKは、情報入力ソリューションなどのスキャンオプションを提供しています。これらのアプリケーションには、データ抽出、処理、取得を向上させるための他の機能が備えられています。詳細については、担当のリセラーにお問い合わせになるか、www.KodakAlaris.com/go/software にアクセスしてください。

TWAINドライバを使用してスキャナーにアクセスする別のスキャンアプリケーショ ンを既にお持ちの場合があります。

スキャナーのディスプレイとボタン：

N2000ディスプレイスクリーンの共通機能

ディスプレイスクリーン上のステータスバー

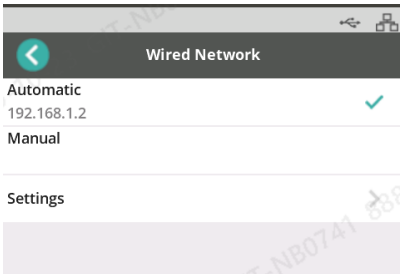
は
スキャナーの接続を表示します：USBまたは有線ネットワーク。

[戻る]ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

[次へ]ボタンを押すと、次の画面に進みます。

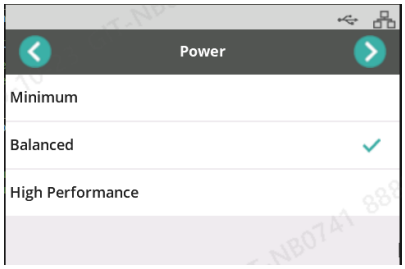
メニューアイコンによって、ネットワークおよび電源設定に移動できます。

メニューオプションの横にこのアイコンが表示される場合は、このオプションの「オン」または「オフ」を切り替えることができます。

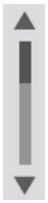


カラー表示されるアイコンは「オン」、グレー表示されるアイコンは「オフ」を意味します。

チェックマークは、そのオプションが選択されていることを意味します。



オプションの数が多いために画面に収まらない場合は、スクロールバーが表示されます。



準備完了

スキャナーのスキャン準備が完了した場合に表示される画面には、複数の種類があります。

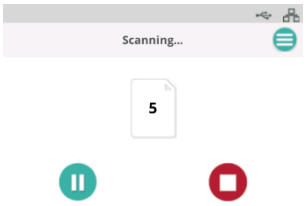
- 使用可能なユーザーのリストから自分自身を選択します。
- スキャン設定、またはスキャンに使用するアクティビティを選択します。
- スキャンアプリケーションからスキャンを開始できる場合は、一般的な [準備完了] 画面（ここに表示されている画面）が表示されます。



注記：別のユーザーがスキャンを行っている場合は、別のユーザーがスキャナーを使用中であることを示すメッセージがディスプレイスクリーンに表示されます。

スキャン中

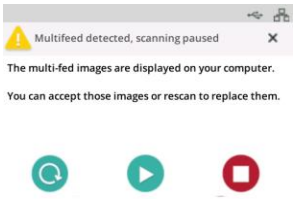
スキャン中、ディスプレイには今回のスキャンセッションのページ数が表示されます。また、スキャンを一時停止したり、ジョブを終了したりすることもできます。



待機中

お客様が次のような処理を行うまで、スキャナーが待機する場合があります。

- 給紙で重送などの問題が発生した場合は、お客様が対処するまで待機します。スキャナースクリーンには、オプション（再スキャン、イメージの受け入れ、スキャンの継続、スキャンの終了）が表示されます。

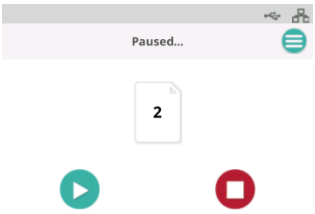


一時停止

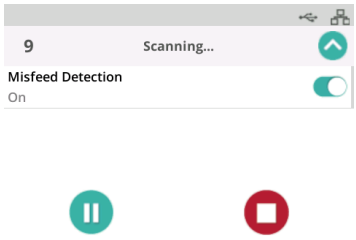
- 再起動が必要 — スキャナーの電源を切って、5 秒待ってから電源を入れます。
- スキャナーカバーが開いている — カバーを閉じます。

スキャナースクリーンで✖ボタンまたは一時停止を押して、スキャナーを一時停止します。スキャナースクリーンに一時停止が表示され、スキャナーは

お客様がスキャンを再開するか、✖または停止するまで待機します。

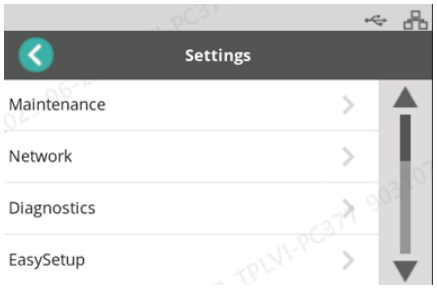


スキャナーを一時停止した場合は、メニューからオプションを使用できます。例えば、封筒がスキャナーに入ることが分かっていて、重送レポートを出したくない場合は、スキャンを一時停止し、メニューアイコンを選択し、一時停止中の重送検出を無効にできます。



スキャナーの設定

[設定] 画面から、スキャナーのネットワークおよび電源オプションを確認または変更できます。



[設定] では、次を実行することもできます。

- スキャナーのクリーニングや部品の交換が行われた日時など、メンテナンスイベントを記録します。
- ディスプレイの言語を選択します。
- スキャナーでスキャンを開始できるのは、単一のPCを使用するユーザー、または複数のPCからのユーザーのいずれであるかを選択できます。
- アクセスを診断します。

原稿の処理における課題と解決法

入力トレイの容量

紙厚およびサイズによって、入力トレイにスムーズに給紙できる原稿の量が決まります。入力トレイには、20ポンド(75 g/m²) の用紙が100枚収納できます。薄い原稿を使用する場合でも、100枚を超える用紙をセットしないでください。

紙厚 — g/m²	紙厚 — lb	A4、レター、または短いサイズ	リーガルサイズ
27～80	7.2～21	100枚	80枚
> 80～105	> 21～ 28	80枚	60枚
> 105～128	> 28～34	65枚	50枚
> 128～157	> 34～42	55枚	40枚
> 157～209	> 42～56	40枚	30枚
> 209～256	> 56～69	35枚	25枚
> 256～413	> 69	20枚	16枚

原稿のスキャン準備

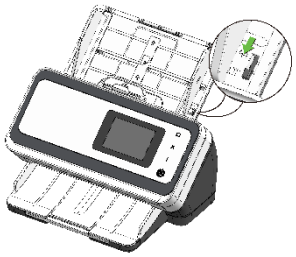
スキャン対象の原稿とスキャナーの物理的なセットアップによって、入力する原稿がどの程度スムーズにスキャナーに給紙され、スキャナーから排紙された後、積み重ねて出力されるかに影響があります。標準用紙サイズの原稿は、簡単に給紙できます。
スキャナーが処理できるようなサイズ、重量、タイプの原稿であることを確認してください。ご使用のスキャナーモデルの仕様を以下で確認してください。

www.KodakAlaris.com/go/N2000

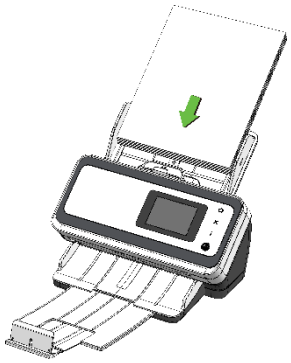
質の高い給紙を確実にするため、以下のベストプラクティスに従ってください。

1. ホチキスやクリップはすべて、原稿から取り除いてください。
2. スキャン前に、原稿上のすべてのインクや修正液が乾いていることを確認してください。
3. 原稿が貼り付いている場合は、1枚ずつ給紙できないことがあります。入力トレイにセットする前に原稿をさばくと、1枚ずつに分けやすくなります。原稿がしっかりと貼り付いている場合（静電気を帯びている場合や、滑らかな素材の場合など）は、両方向に原稿をさばくことが推奨されます。
4. さばいた後、原稿セットを揃えます。異なるサイズの原稿が混在している場合は、スキャナーに先に給紙されるリードエッジのみを揃えます。原稿のサイズがすべて同じ場合は、側面を揃えてから、リードエッジを揃えます。
5. 入力トレイの中央に、サイドガイドの間に収まるように原稿をセットします。原稿の表面を伏せて入力トレイにセットし、原稿のリードエッジから入力トレイに挿入します。入力原稿をサポートできるように、入力トレイを引き出します。

6. サイドガイドをスライドさせて、入力原稿の両端に触れるように設置します。標準のレターサイズまたはA4サイズの原稿をスキャンする場合、図に示すように、入力トレイにはサイドガイドが大きく開くのを制限するスイッチがあります。



7. 出力トレイを伸ばして、入力原稿より約1cm長くします。用紙の長さが35cmより短い場合は、出力トレイのエンドストップを上げてください。
8. 給紙や分離が困難な原稿の場合は、図に示すように、原稿のリードエッジをずらして段状にします。原稿の背面を押さえて原稿をたわませ、一番下にある原稿のリードエッジが先に給紙されるように、一番上の原稿まで段状に配置します。原稿を入力トレイにセットする際に、原稿のこの形状を維持します。



9. 次に挙げる一部の用紙タイプによっては、給紙および分離の処理に影響が及ぶ場合があります。
   - 感熱紙
   - コート紙
   - 端が接着された原稿
   - 穴の開いた原稿
   - ノンカーボン紙
   - 事前に折りたたまれた原稿
   - 静電気を帯びた原稿
   - 写真（光沢仕上げ）
   - 粗目の紙
   - 以前ホッチキスで止められていた原稿

原稿に適した準備手順と入力原稿のサイズを判断するため、上記のヒント（**31ページの「サイズの混在する原稿」を**参照）を試してみる必要がある場合があります。

確実な給紙のための設定

原稿サイズの混在する

29ページの「原稿のスキャン準備」のヒントに従ってください。入力原稿を入力トレイの中央に配置し、左右に分けてセットしてみてください。リードエッジは揃えるか、段状にします。

軽量な原稿

入力原稿のセットを真っ直ぐに揃えてから、原稿をさばき、その後でフィーダにリードエッジを先にして配置します。

軽量な原稿は、入力トレイの奥まで差し込まないでください。スキャナーがページを検出する必要があるため、奥に押し込みすぎるとデリケートな用紙がしわくちゃになるおそれがあります。

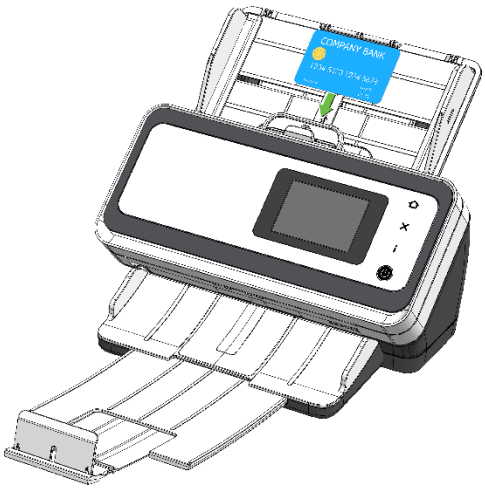
NCR用紙

「ノンカーボン」（NCR）用紙は、スキャナーローラに影響を及ぼす化学物質でコーティングされており、スキャナーの給紙パフォーマンスが低下する可能性があります。
NCR用紙をスキャンした後は、スキャナーのクリーニングを行うことが推奨されます。**41ページの「クリーニング手順」**を参照してください。

小さなアイテムをスキャンする

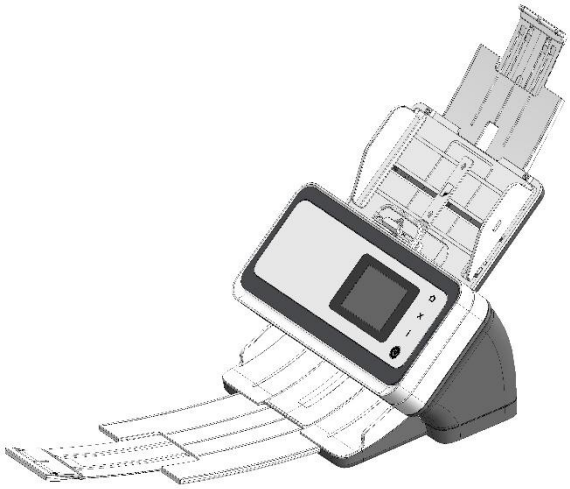
運転免許証やクレジットカードなど小さなアイテム、特に比較的厚みのある硬いカードをスキャンする場合は、エンボス面を上にして1枚ずつスキャンすることが推奨されます。手動でのサポートが必要になる場合があります。

より大きな原稿セットの始めに1枚のカードをスキャンできます。硬い素材のカードを横向きに給紙します。



長い原稿

1. 入力原稿にサポートが必要になります。長い原稿では、入力トレイを最大限に引き伸ばします。非常に長い原稿の場合は、必要に応じて手動で追加サポートを行います。
2. 出力トレイの長さを最大限に設定します。エンドストップは立てないでください。

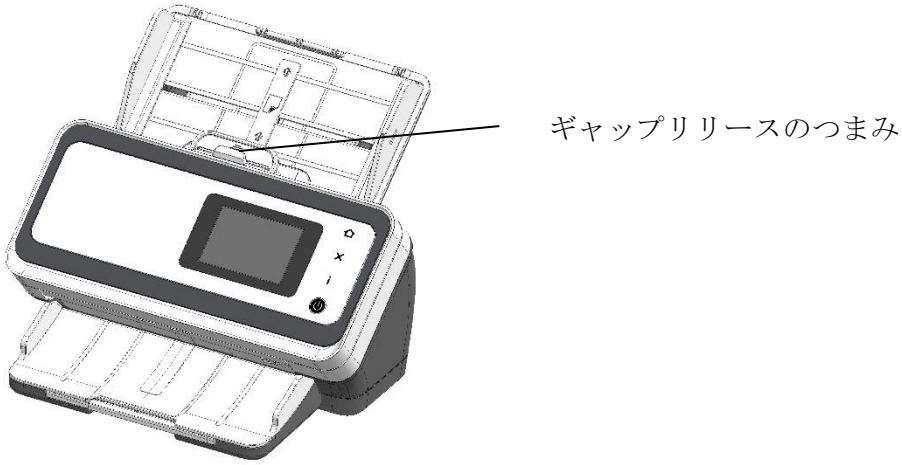


破損しやすい原稿または特大サイズの原稿

慎重な取り扱い

デリケートなページがスキャナーを通過する際にしわくちゃになるのが心配な場合は、用紙を丁寧に扱うためのもう一つの選択肢としてギャップリリース機能を使用できます。原稿セットの最初（最下部）のページを他の原稿から分離するため、一定の圧力が使用されます。圧力を使わずに、扱いの困難な1枚の原稿や写真を給紙する場合は、ギャップリリースのつまみを引き上げて、原稿を入力トレイにセットし、スキャンします。原稿セットをスキャンするには、ギャップリリースのつまみを通常の位置に戻します。

- 特定の原稿に最適な設定を見つけるため、スキャンの実行速度に合わせて原稿の保護を調節しながら、実験することが必要になる場合があります。



非常に慎重な取り扱い

損傷させることのできない破損しやすい原稿の場合は、各ページをドキュメントスリーブにセットします（KODAKキャリアスリーブ（5パック）を注文するには、**55ページの「消耗品」**にあるお使いのスキャナーのリンクを参照してください）。キャリアスリーブでのスキャンを有効にするには、TWAINドライバのヘルプまたはセットアップガイドを参照してください。セットアップガイドは、お使いのモデルのサポートページで入手できます。

- 原稿をスリーブに入れて、スキャンします。

破損しやすい原稿を頻繁にスキャンする場合は、KODAKフラットベッドアクセサリの追加を検討することが推奨されます。使用可能なKODAKフラットベッドアクセサリについては、**55ページの「消耗品」**にあるお使いのスキャナーのリンクを参照してください。

特大サイズの原稿

スキャナーの入力口よりも幅が広いものの、その幅の倍未満の原稿をスキャンする場合は、スリーブアクセサリ（KODAKキャリアスリーブ（5パック）を注文するには、**55ページの「消耗品」**にあるお使いのスキャナーモデルのリンクを参照してください）を使用して、折りたたんでスキャンすることができます。[折りたたんだ原稿をスキャン] を有効にするには、TWAINドライバのヘルプやセットアップガイドを参照してください。セットアップガイドは、お使いのモデルのサポートページで入手できます。

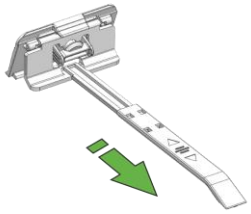
- スリーブに収まるように、原稿を半分に折りたたみます。
- スリーブ入り原稿の両面がスキャンされ、イメージが1つに結合されます。

スタッキングディフレクターアクセサリの使用方法

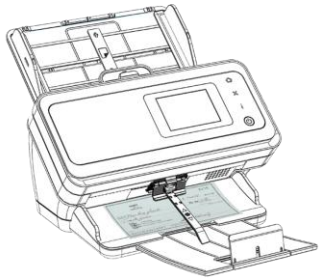
さまざまな長さの用紙のスキャン

1. 使用時は、スタッキングディフレクターの脚を下げます。

2. 脚は調節できます。脚の長さを変えたい場合、スタッキングディフレクターを中央のハブの接点で保持します。



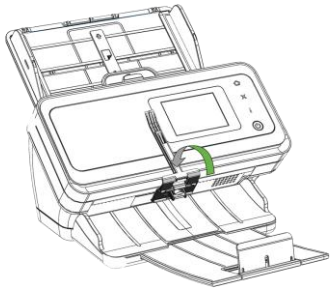
3. 異なる長さ（伝票付きのフォームなど）のページをスキャンする場合、すべての短いページを受け止めるよう、ディフレクターの脚を調節します。長いページはディフレクターの脚下に突き出ますが、短いページはスキャナーの近くにとどまります。



4. 複数の異なる長さ（3 インチ、5 インチ、11 インチなど）のページをスキャンする場合、すべての短いページを確保するようディフレクターの脚を調節します。この例では、5 インチのページを確保するよう調節します。短いページはスキャナーの近くにとどまり、長いページはスタッキングディフレクターの脚から突き出ます。

通常ジョブ

スタッキングディフレクターを使わずにジョブが正確にスタックする場合、スタッキングディフレクターをスキャナーカバーの上に載るよう反転させることができます。
必要な場合、スタッキングディフレクターを再び下向きに反転させます。スタッキングディフレクターは 150 mm（5.9 インチ）より長くて軽いページには推奨されません。



重送

重送とは、イメージング領域を複数の原稿がまとまって通過することを指します。これにより、1ページ以上のイメージがスキャンされないか、複数のページのコンテンツが組み合わされたイメージが生成されます。

スキャン中に重送を検知する

ご使用のスキャンアプリケーションの重送感度を調整します。

（インタラクティブ重送がセットアップされているジョブで）スキャン中に重送が発生した場合：

1. ご使用のPCでイメージを確認します。イメージが許容できるものである場合は、スキャンアプリケーションでイメージを受け入れるか、スキャナーの [承認] ボタンを押してスキャンを再開します。
2. イメージを許容できない場合：
   - スキャナーカバーを開きます。
   - 重送された原稿を離して原稿セットの最後に配置します。
   - 原稿セットをさばいて、給紙に適した形状に調整します。
   - スキャナーを閉めます。
   - 入力トレイに原稿セットを配置します。
   - スキャナーまたはスキャンアプリケーションで **[再スキャン]** を選択します。
     イメージが削除され、スキャンが再開されます。

重送が発生していないにもかかわらず、スキャナーが停止する場合

ご使用のスキャンアプリケーションの重送感度を調整します。
TWAINドライバのヘルプまたはセットアップガイドを参照してください。セットアップガイドは、お使いのモデルのサポートページで入手できます。スキャン対象の原稿タイプに適した設定を見つけるため、実験することが必要になる場合があります。

依然として問題が解決しない場合

このセクションに記載された他の提案事項を試しても問題が解決されない場合は、スキャナーの次の点を確認してください。

- スキャナーのクリーニング方法については、**41ページの「クリーニング手順」**を参照してください。ローラの清潔度と摩耗によって、原稿の給紙状態に影響が出ます。
- **50ページの「交換手順」**を参照し、フィードローラ、セパレーションローラ、プリセパレーションパッドが正しく取り付けられていることを確認してください。

画質の向上

ご使用のスキャナーでは、用途に応じて最適化されたイメージを生成できます。ここでは、画質の向上のために一般的に使用される設定の一部を紹介します。これらの機能およびその他の機能は、ご使用のドライバ（TWAIN）のヘルプシステムで説明されています。これらの機能はドライバでセットアップされるため、ご使用のKODAKスキャンアプリケーションは、プログラムされたスキャンプロファイルまたは設定でこれらを使用できる場合があります。

推奨される設定

ドライバの [白黒パーフェクトページ] および [カラーパーフェクトページ] のショートカットにより、原稿のスキャンに推奨される設定を使用できます。

他のパーフェクトページ設定

次の設定によって、イメージまたは原稿の外観を向上させることができます。

1. 空白ページの自動除去：ほとんど、またはまったくデータのないイメージが自動的に出力から削除されるため、手動による編集が軽減され、ストレージも節約できます。
2. パンチ穴除去：原稿のパンチ穴による黒い穴を、イメージの背景色に変更します。
3. 背景色のスムージング：カラーイメージでイメージの背景色が不均等な場合は、より均一な背景に変更して、よりクリーンなイメージを生成します。
4. ノイズ除去（ノイズフィルタ）：白黒イメージには、不均等な原稿の厚さのためにノイズ（黒い斑点）が付く場合があります。ノイズ除去オプションを使用すると、イメージがよりクリーンになります。これによって、イメージ内の情報が削除される可能性もあるため、自動的なデータ認識が主な用途である場合は、ノイズ除去は推奨されません。
5. イメージの縁：画像境界の背景をすべて削除するには、[境界線] をオンにします。
6. イメージ端埋め画像境界に表示される破れをすべて削除するには、端埋めをオンにします（[自動] または [自動 - 破れを含む] のいずれか）。
7. カラードロップアウト：不要なフォーム線を、1色または複数色で削除します。

8. **イメージ結合：表面のイメージと裏面のイメージを1つに統合することができます。例えば、小切手の表面と裏面を1つのイメージにすることができます。**
9. **デュアルストリーム：**スキャンした原稿の表面、裏面、両面について、白黒およびカラー（またはグレースケール）の両方のイメージを取得できます。

   注記：選択したオプションによっては、スキャナーのスループットが低下する場合があります。

スキャナーの電源をオフにする

スキャナーの電源をオフにするには、電源ボタンを1秒間押します。

注記：*電源オフ*エネルギーセーバー機能によっても、省電力モードを開始してから一定時間が経過すると、スキャナーの電源がオフになります。デフォルトは240分です。N2040/N2050スキャナーの場合は、スキャナーのタッチスクリーンまたは組み込みのWebサイトで設定します。

「起動」操作

オフの状態から

- スキャナーの電源ボタンを押します。⏻

スタンバイ/スリープの状態から

次のいずれかの方法で、節電モードのスキャナーを起動できます。

- スキャナーの電源ボタンを押します。
- 入力トレイに原稿をセットします。
- スキャナーに接続されているスキャンアプリケーションを使用します。
- USBまたはイーサネットでスキャナーにアクセスします。

4 メンテナンス

スキャナーのメーター

スキャナーには複数のメーターが備えられており、さまざまなスキャナー部品のクリーニングと交換のタイミングに関する情報を確認できます。これらのメーターは、画質とスキャンパフォーマンスを維持するために役立ちます。

メーターディスプレイを表示するには、スキャナースクリーンで [メンテナンス] を選択します。メーターディスプレイには、ツールシンボルが青色（クリーニングまたは交換の期限に達していない場合）または黄色（クリーニングまたは交換の時期になった場合）で表示されます。

クリーニングまたは交換が不要

クリーニングまたは部品交換の時期

メーターのカウント数（前回のクリーニングまたは交換以降のスキャン回数）







この画面で [**メーター**] を選択すると、前回のクリーニングまたは部品交換以降のスキャン回数と、スキャナーのクリーニングまたは部品交換が必要となる回数が表示されます。

[*クリーニング*] または [*フィードキット*] で [リセット] を選択すると、カウント数が 0 になります（前回のクリーニング/交換以降のスキャン回数）。

スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーカバーのリリースレバーを引き、カバーを解除して開きます。



2. スキャナーのクリーニングや部品の交換が完了したら、スキャナーカバーを閉じます。

クリーニング手順

スキャナーは定期的にクリーニングを行う必要があります。次のいずれかの問題が発生した場合は、まずスキャナーのクリーニングを行ってください。

- 原稿が容易に給紙されない
- 複数の原稿が同時に給紙される
- 画像に線が入る
- スキャナーから排紙される原稿にローラ/タイヤの跡が付く

トランスポートクリーニングシート、ローラクリーニングパッド、Brillianize溶液は、すべてKodak Alarisからご購入いただけます。スキャナーのクリーニングに必要な消耗品については、**55ページの「消耗品」**にあるお使いのスキャナーのリンクを参照してください。

重要：Kodak Alarisの推奨するクリーナのみを使用してください。家庭用クリーナは使用しないでください。アルコールや、アルコールを含むクリーナを使用しないでください。

クリーニング前に、表面温度が室温になるまで待ってください。高熱面にクリーナを使用しないでください。

適切な換気を行ってください。狭い場所でクリーナを使用しないでください。

クリーニング後は、ローラが乾くまで待ってから、スキャンを再開してください。

クリーニングの順序

1. トランスポートクリーニングシートを複数回使用して、ローラの残留物を除去します。このクリーニング技術はシンプルであり、ローラを長期にわたって維持するために役立ちます。**「トランスポートクリーニングシートによる清掃」**を参照してください。
2. トランスポートクリーニングシートを使用してもローラの汚れが取れない場合は、ローラクリーニングパッドを使用してクリーニングします。**「セパレーションローラのクリーニング」**と**「フィードローラのクリーニング」**を参照してください。
3. ローラの汚れが取れたら、イメージングガイドのクリーニングを行います。**「イメージングガイドのクリーニング」**を参照してください。
4. メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。
5. スキャナーのスクリーンディスプレイで [*メンテナンス*] に移動し、**[クリーニング] > [リセット]** を選択します。**40ページの「スキャナーのメーター」**を参照してください。

トランスポートクリーニングシートによるクリーニング

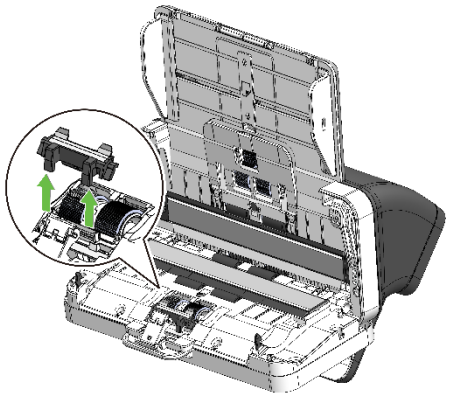
1. トランスポートクリーニングシートの台紙を取り除きます。
2. クリーニングシートに合わせてサイドガイドを調整します。
3. 入力トレイにトランスポートクリーニングシートを（粘着面を手前に向けて）縦にセットします。
4. スキャンアプリケーションを使用して、トランスポートクリーニングシートをスキャンします。
5. トランスポートクリーニングシートのスキャンが終了したら、裏返して（粘着面を入力トレイに伏せる）もう一度スキャンします。
6. スキャナーカバーを開け、糸くずの出ない布でイメージングガイドを拭きます。
7. スキャナーカバーを閉めます。
8. 数ページをスキャンします。スキャンされた原稿または画像にローラのインクやトナーが付着していないことを確認します。
9. 必要であれば、この手順を繰り返します。

注記：クリーニングシートがかなり汚れたら、破棄して新しいシートを使用してください。シートが汚れていない場合は、シートを台紙に戻して、再度使用するために保管してください。

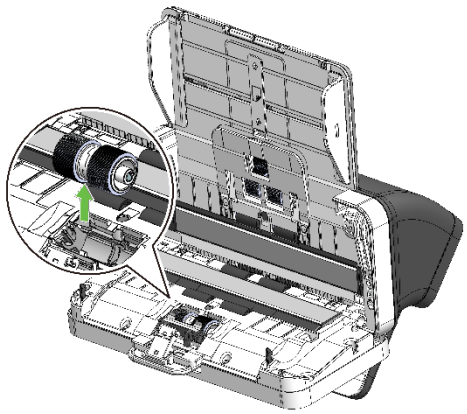
セパレーションローラのクリーニング

スキャナーからセパレーションローラを取り外すとクリーニングを行いやすくなります。

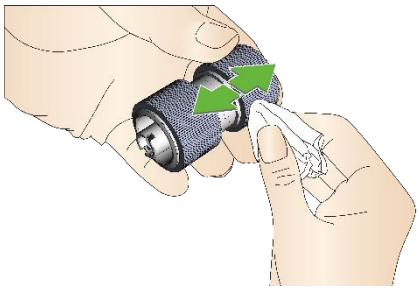
1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドをつかんでそのまま上に引き出して、取り外します。



3. セパレーションローラをつかんでそのまま上に引き出します。



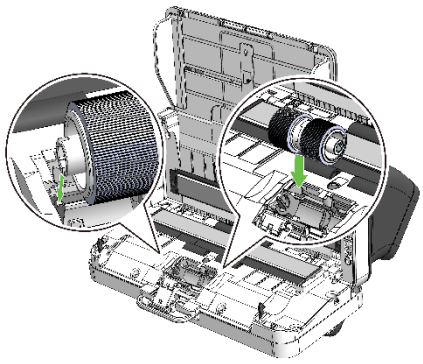
4. セパレーションローラタイヤをローラクリーニングパッドで拭きます。タイヤに溝がある場合は、溝の方向に沿って拭いてください。お使いのモデルのタイヤが、このイラストのタイヤと違うように見える場合があります。



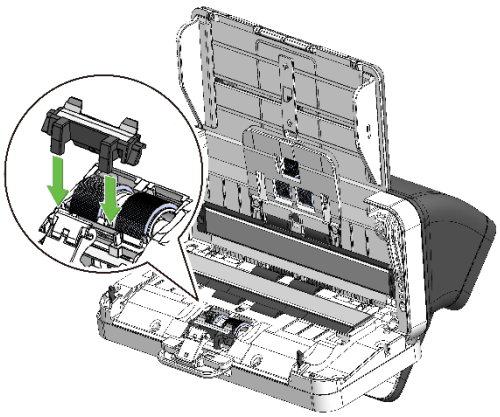
5. セパレーションローラを確認します。

   セパレーションローラタイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、セパレーションローラアセンブリを交換します。詳細については46ページの「交換手順」を参照してください。

6. セパレーションローラを再度取り付けるには、タブと溝の位置を合わせて、押し込みます。



7. プリセパレーションパッドを再度取り付けるには、プリセパレーションパッドの穴と溝の位置を合わせて、押し込みます。

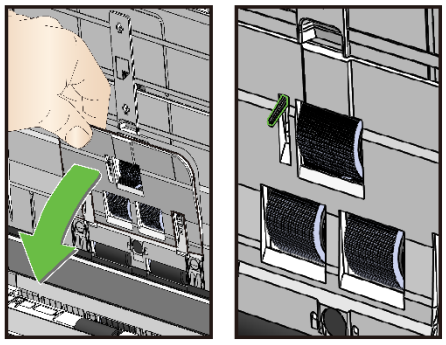


8. スキャナーカバーを閉めます。

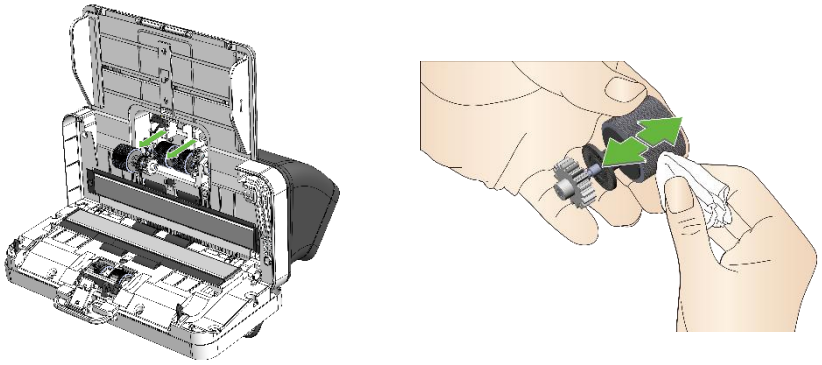
フィードローラのクリーニング

1. スキャナーカバーを開きます。
2. フィードローラカバー中央の先端をつまみ、持ち上げながら外します。

   注記：フィードローラカバーを取り外したり、フィードローラの周囲のクリーニングを行ったりする場合は、用紙センサーを傷つけないように注意してください。

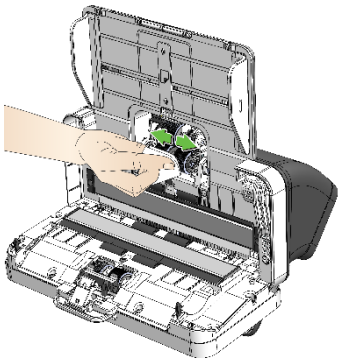


3. アージングローラを取り外し、ローラクリーニングパッドで拭きます。



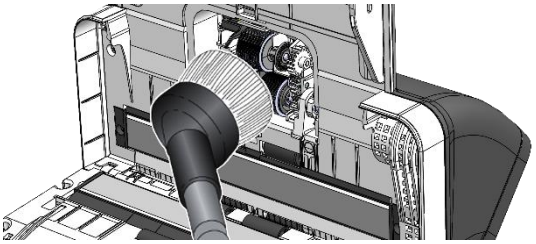
4. アージングローラを元に戻します。

5. 下部のフィードローラタイヤを取り外さずにクリーニングを行います。ローラを設置した状態で片方の手で回転させながら、もう一方の手でローラクリーニングパッドを使用して拭きます。

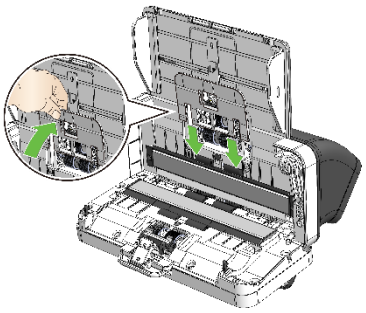


6. フィードローラを確認します。フィードローラタイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、フィードローラを交換します。詳細については49**ページ**の**「交換手順」**を参照してください。

7. フィードローラが格納されている穴の部分を確認します。多量の埃がたまっている場合は、ローラクリーニングパッドを折りたたんで埃を拭き取ります。この領域は、掃除機を使用することもできます。

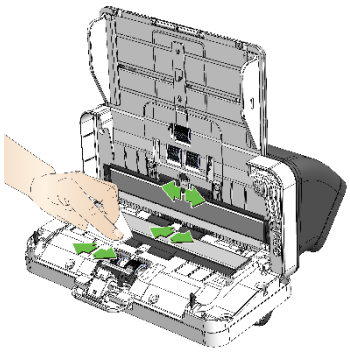


8. フィードローラカバーを元に戻すには、用紙センサーの周りに配置し（ステップ 1）、カバーの下端をスキャナーに合わせて（ステップ 2）、フィードローラカバーを正しい位置に押し込みカチッと音がするまで、しっかりと取り付けてください（ステップ 3）。



搬送ローラのクリーニング

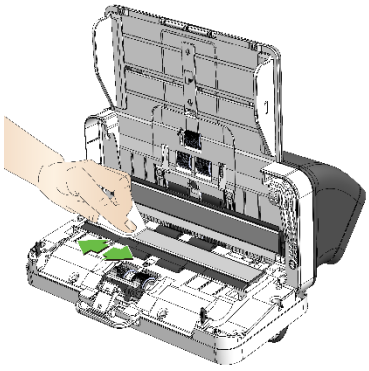
ローラクリーニングパッドを使用して、搬送ローラのクリーニングを行います。搬送ローラのうち、6個はスキャナー内部からクリーニングが可能です（以下の図を参照してください）。残りの2個は、スキャナーの底面からの方が容易にクリーニングを行えます。10ページの**「底面」**を参照してください。



イメージングガイドのクリーニング

1. Brillianize溶液とマイクロファイバークロスを使って、上下の画像領域を拭いてください。クリーニング中にイメージングガイドに傷を付けないように注意してください。

*重要：*Brillianize溶液*には目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、安全データシートを参照してください。*



2. マイクロファイバークロスを使って、上下の画像領域を再度拭き、拭き跡を取り除いてください。
3. クリーニングが終了したら、スキャナーカバーを閉じます。

交換手順

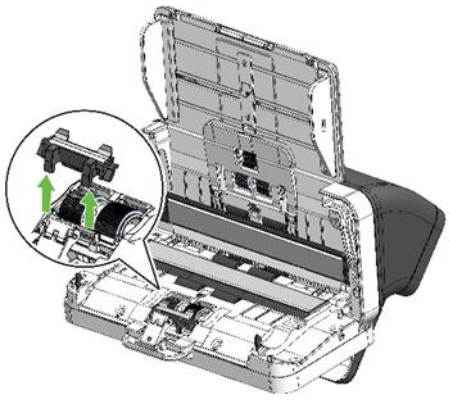
KODAKスキャナーは、さまざまな種類、サイズ、厚みの原稿を給紙できる交換可能なフィードローラモジュールを使用しています。運用環境、原稿タイプ、スキャン対象の原稿の状態、搬送路およびタイヤのクリーニング頻度、およびフィードローラモジュールの推奨交換スケジュールを守らないことによって、消耗品の使用可能期間は変化します。クリーニング手順に従って作業を行っても、重送、紙詰まり、フィーダパフォーマンスの低下などの問題が頻発する場合は、フィードローラモジュールを交換してください。

注記：

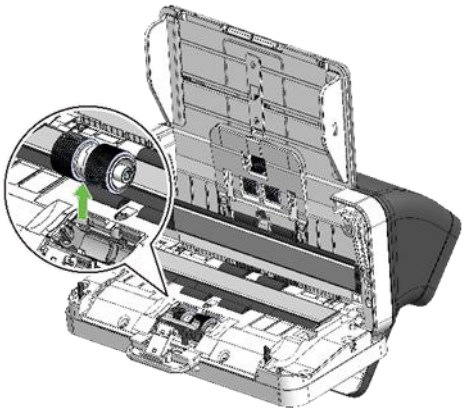
- 部品を交換する前に、電源を切ります。
- 特定の用紙タイプ（ノンカーボン紙や新聞紙）をスキャンした場合、クリーニングを定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、ローラの使用可能期間が短くなることがあります。

セパレーションローラの交換

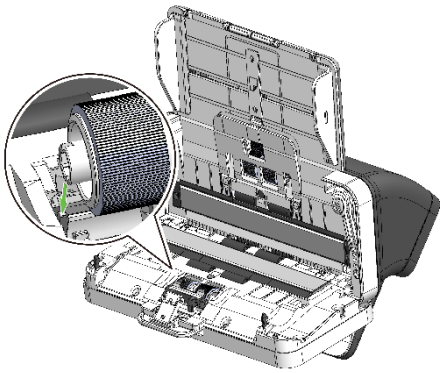
1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドをつかんでそのまま上に引き出して、取り外します。



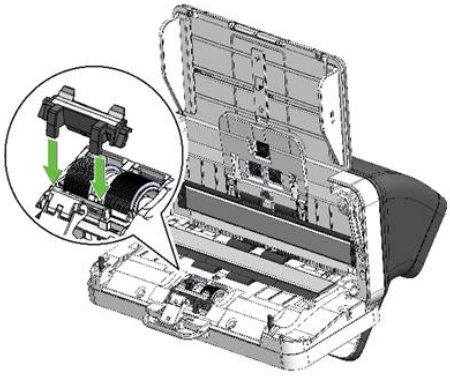
3. セパレーションローラをつかんでそのまま上に引き出します。これを廃棄します。



4. 新しいセパレーションローラを取り付けます。タブと溝の位置を合わせて押し込みます。



5. プリセパレーションパッドの溝と穴の位置を合わせて押し込み、再度取り付けます。



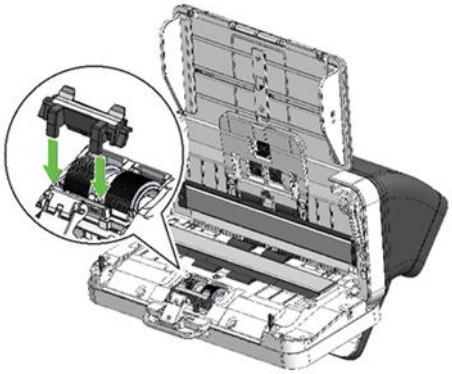
6. スキャナーカバーを閉めます。
7. スキャナーのスクリーンディスプレイで [*メンテナンス*] に移動し、**[タイヤ] > [リセット]** を選択します。**40ページの「スキャナーのメーター」**を参照してください。

プリセパレーションパッドの交換

1. プリセパレーションパッドをつかんで引き出して、取り外します。



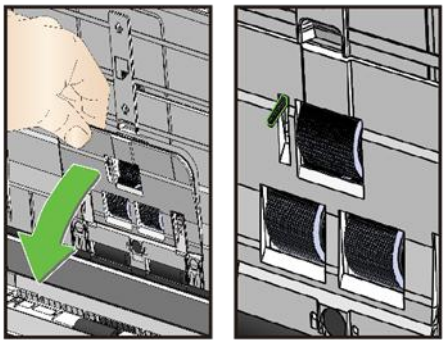
2. 摩耗したプリセパレーションパッドを廃棄します。
3. プリセパレーションパッドの溝と穴の位置を合わせて押し込み、新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。



4. スキャナーのスクリーンディスプレイで [*メンテナンス*] に移動し、**[セパレーションパッド] > [リセット]** を選択します。**40ページの「スキャナーのメーター」**を参照してください。

アージングローラタイヤの交換

1. スキャナーカバーを開きます。
2. フィードローラカバーの先端を引っ張り、持ち上げながら外します。



注記：フィードローラを取り外したり、フィードローラの周囲のクリーニングを行ったりする場合、用紙センサーを傷つけないように注意してください。

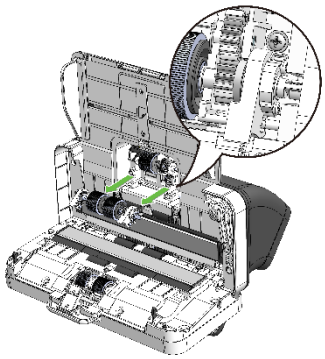
3. アージングローラを取り外し、タイヤを交換します。



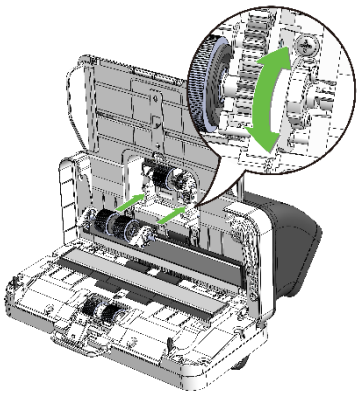
4. アージングローラを元に戻して、正しく配置します。

フィードローラの交換

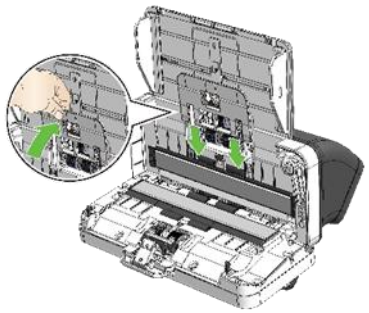
1. フィードローラを回転させると、ピンが溝の位置にきます。ローラは一方向にのみ回転します。端にある白いブラケットを使用して、ローラを回転します。ピンが適切に配置されたら、ローラを持ち上げて外します。



2. 摩耗したフィードローラを廃棄します。
3. 新しいフィードローラを取り付けます。ピンと溝の位置を合わせ、所定の位置にローラを設置します。歯車とブラケットが正しくかみ合い、ローラが所定の位置に入っていることを確認してください。



4. フィードローラカバーを元に戻すには、用紙センサーの周りに配置し、カバーの下端をスキャナーに合わせて、フィードローラカバーを正しい位置に押し込み、カチッと音がするまでしっかりと取り付けてください。



消耗品

お客様が交換可能な部品とアクセサリ

スキャナーのクリーニング用品、消耗品、アクセサリ、メンテナンスガイドラインの完全なリストについては、お使いのスキャナーのサポートページ（下記）を参照し、[消耗品] をクリックしてください。

www.KodakAlaris.com/go/N2000support

消耗品を注文するには、スキャナー販売代理店に連絡してください。

アップデート

スキャナーのドライバおよび内部のファームウェアは、お客様が更新できます。最新ドライバおよびスキャナーのファームウェアは、こちらからダウンロードできます。

www.KodakAlaris.com/N2000support

スキャナースクリーンで、スキャナーの **[設定] > [情報]** 画面を使用して、スキャナーのファームウェアバージョンを確認します。TWAIN ドライバの **[バージョン情報]** 画面で、コンピューターにインストールされているドライバのバージョンを確認します。通常、バージョンが新しくなるほど、問題が修正されており、機能も向上している場合があります。

技術サポートへのお問い合わせ

お住まいの国の最新の電話番号については、
www.KodakAlaris.com/go/contactusをご覧ください。

お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。

- 問題の内容
- スキャナーのモデルとシリアル番号
- コンピューターの構成
- お使いのスキャンアプリケーション

付録A 規制に関する情報

注

このセクションの未翻訳の情報は、その地域のお客様にのみ適用されます。
KODAK N2040/N2050スキャナーは、業務用/商業用です。

環境に関する情報

- KODAKスキャナーは、世界的な環境要件を満たすように設計されています。
- メンテナンスまたは保守時に交換した消耗品の廃棄については、ガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか、最寄りのKodak Alaris代理店にお問い合わせください。
- この機器の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルに関する情報については、地方自治体にお問い合わせください。米国の場合は以下にアクセスしてください。
  https://corporate.kodakalaris.com/About-Us/Environment,-Health-and-Safety/EHS-CDR-Waste-Management
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- KODAK N2000スキャナーはEnergy Starに準拠しており、出荷時には15分に設定されています。
- KODAK N2040およびN2050スキャナーは、業務用/商業用です。

欧州連合（EU）



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集/回収プログラムの詳細については、最寄りのKodak Alaris代理店にお問い合わせいただくか、https://corporate.kodakalaris.com/About-Us/Environment,-Health-and-Safety を参照してください。

REACH規則（（EC）No. 1907/2006）第59（1）条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、
https://corporate.kodakalaris.com/About-Us/Environment,-Health-and-Safety を参照してください。

仕様

仕様	N2040	N2050
読み取り速度	40 ppm / 80 ipm	50 ppm / 100 ipm
フィーダ容量	80 g/m²の用紙で最高100枚	80 g/m²の用紙で最高100枚
接続	10/100/1000イーサネット	10/100/1000イーサネット
最大原稿サイズ	幅（X方向）：最大8.5インチ 長さ（Y方向）：最大14.0インチ	幅（X方向）：最大8.5インチ 長さ（Y方向）：最大14.0インチ
最小原稿サイズ	幅（X方向）：最小52mm（2.05インチ）（A8縦向き) 長さ（Y方向）：最小52mm（2.05インチ）（A8横向き）	幅（X方向）：最小52mm（2.05インチ）（A8縦向き) 長さ（Y方向）：最小52mm（2.05インチ）（A8横向き）
用紙の厚さおよび重量	34～413 gsm（9～110ポンド） 薄紙/NCR用紙 「硬い」カード（1.2mmまで、エンボス加工および非エンボス加工）[TIGER-29] カスタムスリーブ - 重送としてフラグなし	34～413 gsm（9～110ポンド） 薄紙/NCR用紙 「硬い」カード（1.2mmまで、エンボス加工および非エンボス加工）[TIGER-29] カスタムスリーブ - 重送としてフラグなし
アクセサリおよび消耗品	A4フラットベッド一体型アクセサリ パスポートフラットベッド一体型アクセサリ	A4フラットベッド一体型アクセサリ パスポートフラットベッド一体型アクセサリ
騒音レベル	アイドル状態：20 dB(A)未満 スキャン中：音圧レベル 50. dB (A)以下 スキャン中：音響出力レベル 63.5 dB (A)以下	アイドル状態：20 dB(A)未満 スキャン中：音圧レベル 50. dB (A)以下 スキャン中：音響出力レベル 63.5 dB (A)以下
適合規格	アルゼンチン（Sマーク - EPSおよびACプラグ/コードに必要...24VDCスキャナーには不要） オーストラリア/ニュージーランド（RCM） カナダ（cTUVusおよびICES-003） 中国（CCC） 欧州連合（CE） 欧州連合（GSマーク） インド（BIS） 日本（VCCI） メキシコ（NOM） 韓国（KC） 台湾（BSMI） 英国（UKCA） 米国（cTUVusおよびFCC）	アルゼンチン（Sマーク - EPSおよびACプラグ/コードに必要...24VDCスキャナーには不要） オーストラリア/ニュージーランド（RCM） カナダ（cTUVusおよびICES-003） 中国（CCC） 欧州連合（CE） 欧州連合（GSマーク） インド（BIS） 日本（VCCI） メキシコ（NOM） 韓国（KC） 台湾（BSMI） 英国（UKCA） 米国（cTUVusおよびFCC）
バーコード読み取り	Interleaved 2 of 5 Code 3 of 9 Code 128 UPC-A UPC-E EAN -13 EAN-8 PDF417 Codabar QR（ユーザー選択可能、1つまたは複数）	Interleaved 2 of 5 Code 3 of 9 Code 128 UPC-A UPC-E EAN -13 EAN-8 PDF417 Codabar QR（ユーザー選択可能、1つまたは複数）
データセキュリティ	このスキャナーは、シャットダウン時に効率的にイメージデータを消去する揮発性メモリからのみ、スキャンしたデータを処理します。	このスキャナーは、シャットダウン時に効率的にイメージデータを消去する揮発性メモリからのみ、スキャンしたデータを処理します。
寸法および重量	製品寸法： 奥行き：218 mm（入力トレイなし） 奥行き：276 mm（入力トレイあり） 幅：307 mm 高さ：183 mm（入力トレイなし） 高さ：233 mm（入力トレイあり） 製品重量：3.2kg～5.5kgの間	製品寸法： 奥行き：218 mm（入力トレイなし） 奥行き：276 mm（入力トレイあり） 幅：307 mm 高さ：183 mm（入力トレイなし） 高さ：233 mm（入力トレイあり） 製品重量：3.2kg～5.5kgの間
電源	入力電圧：100～240VAC、50/60Hz最大1.0A	入力電圧：100～240VAC、50/60Hz最大1.0A

環境保証	Energy Star認証 エコデザイン基準（旧EPEATゴールド基準）	Energy Star認証 エコデザイン基準（旧EPEATゴールド基準）

出力ファイル形式 (スキャナーおよびソフトウェア)	スキャナーからの出力： TIFF JPEG 対応ソフトウェアアプリケーション： TIFF（シングルページおよびマルチページ） JPEG RTF BMP PDF サーチャブルPDF TXT PNG CSV Word Excel PPTX	スキャナーからの出力： TIFF JPEG 対応ソフトウェアアプリケーション： TIFF（シングルページおよびマルチページ） JPEG RTF BMP PDF サーチャブルPDF TXT PNG CSV Word Excel PPTX
画像出力解像度オプション（DPI）	75、100、150、200、240、250、260、300、400、500、600、1200 dpi	75、100、150、200、240、250、260、300、400、500、600、1200 dpi
ネットワークプロトコル	DHCP（または固定IP） TCP/IP	DHCP（または固定IP） TCP/IP
オペレーティングシステムの互換性	Windows 10 32ビットおよび64ビット Windows 11 64ビット Windows Server 2012 R2 X64 Editions Windows Server 2016 X64 Editions Windows Server 2019 X64 Editions Windows Server 2022 X64 Editions Open SUSE 11.3 (i586) 32ビット Open SUSE LEAP 15.1 64ビット SUSE Linux Enterprise Desktop 12.2 64ビット SUSE Linux Enterprise Desktop 15 SPS for 64ビット Ubuntu 16.04 64ビットおよび32ビット Ubuntu 18.04 64ビット Ubuntu 20.04 64ビット	Windows 10 32ビットおよび64ビット Windows 11 64ビット Windows Server 2012 R2 X64 Editions Windows Server 2016 X64 Editions Windows Server 2019 X64 Editions Windows Server 2022 X64 Editions Open SUSE 11.3 (i586) 32ビット Open SUSE LEAP 15.1 64ビット SUSE Linux Enterprise Desktop 12.2 64ビット SUSE Linux Enterprise Desktop 15 SPS for 64ビット Ubuntu 16.04 64ビットおよび32ビット Ubuntu 18.04 64ビット Ubuntu 20.04 64ビット
動作温度および湿度	動作温度： 10度～35度 動作湿度： 15%～80%	動作温度： 10度～35度 動作湿度： 15%～80%
オペレーターコントロールパネル	対角3.5インチの有効領域を持つカラータッチスクリーンとオペレータコントロールボタン	対角3.5インチの有効領域を持つカラータッチスクリーンとオペレータコントロールボタン
用紙搬送オプション	原稿はストレート排紙されます。	原稿はストレート排紙されます。
用紙処理（SurePath）機能	ホストのイメージディスプレイとのインタラクティブな重送 長さによる重送検知 超音波重送技術	ホストのイメージディスプレイとのインタラクティブな重送 長さによる重送検知 超音波重送技術

パーフェクトページ画像拡張ソフト	アダプティブスレッショルドプロセッシング 枠線の追加または削除 アグレッシブクロッピング オートホワイトバランス 自動枠消し 自動輝度/コントラスト 自動カラーバランス 自動カラー識別機能 自動方向検出機能 自動写真切り出し機能 背景色のスムージング バーコード読取り 白黒イメージセグメント 輝度およびコントラスト調整 コンテンツベースの白紙除去 傾き修正 デジタルスタンピング デュアルストリームスキャニング 電子的色抜き 拡張カラー　　調整 拡張カラー管理 固定クロッピング 固定しきい値 ハーフトーン除去 イメージ端埋め イメージのパンチ穴除去 イメージ結合 イメージ分割 iThresholding 孤立ピクセルノイズ 長尺原稿スキャン（最大3000mm）の削除。 マジョリティルールノイズ除去 マルチカラードロップアウト 複数原稿出力 直交回 転 出力圧縮CCITTグループIV、JPEG、非圧縮出力 相対クロッピング シャープニング スリーブスキャン（A3原稿または複数の小さな原稿をスキャンする場合） 縦縞フィルタ	アダプティブスレッショルドプロセッシング 枠線の追加または削除 アグレッシブクロッピング オートホワイトバランス 自動枠消し 自動輝度/コントラスト 自動カラーバランス 自動カラー識別機能 自動方向検出機能 自動写真切り出し機能 背景色のスムージング バーコード読取り 白黒イメージセグメント 輝度およびコントラスト調整 コンテンツベースの白紙除去 傾き修正 デジタルスタンピング デュアルストリームスキャニング 電子的色抜き 拡張カラー　　調整 拡張カラー管理 固定クロッピング 固定しきい値 ハーフトーン除去 イメージ端埋め イメージのパンチ穴除去 イメージ結合 イメージ分割 iThresholding 孤立ピクセルノイズ 長尺原稿スキャン（最大3000mm）の削除。 マジョリティルールノイズ除去 マルチカラードロップアウト 複数原稿出力 直交回 転 出力圧縮CCITTグループIV、JPEG、非圧縮出力 相対クロッピング シャープニング スリーブスキャン（A3原稿または複数の小さな原稿をスキャンする場合） 縦縞フィルタ
消費電力	電源：115 V / 60 HZ、230 V / 50 HZ、100 V / 50 HZ 稼働時：36W未満 スリープモード：3.2W未満 スタンバイモード：0.50Wを超えない ネットワークスタンバイ：2.00Wを超えない オフモード時：0.30Wを超えない	電源：115 V / 60 HZ、230 V / 50 HZ、100 V / 50 HZ 稼働時：36W未満 スリープモード：3.2W未満 スタンバイモード：0.50Wを超えない ネットワークスタンバイ：2.00Wを超えない オフモード時：0.30Wを超えない
1日の推奨処理枚数	平均的な顧客： 2,000/日 公称処理能力： 5,000～12,000/日を超えないこと	平均的な顧客： 2,000/日 公称処理能力： 5,000～12,000/日を超えないこと
推奨PC構成	Intel Core i5 Gen 12 - 2.5GHz 8 GB	Intel Core i5 Gen 12 - 2.5GHz 8 GB
スキャンテクノロジー	デュアルLED (RGB) Illumination CIS、グレースケール出力階調は256レベル (8 ビット)、カラー出力階調は24 ビット (8 x 3)　　カラー読み取り階調48ビット (16 x 3)	デュアルLED (RGB) Illumination CIS、グレースケール出力階調は256レベル (8 ビット)、カラー出力階調は24 ビット (8 x 3)　　カラー読み取り階調48ビット (16 x 3)
標準ソフトウェアおよびドライバ	TWAIN WIA Linux	TWAIN WIA Linux

有毒有害物质或元素名称及含量标识表

有害物質の名前および濃度の一覧

部件名称 Component name	有毒有害物质或元素 hazardous substances' name									
	铅 (Pb) 0.1%	汞 (Hg) 0.1%	镉 (Cd) 0.01%	六价铬 (Cr6+) 0.1%	多溴联苯 (PBB) 0.1%	多溴二苯醚 (PBDE) 0.1%	邻苯二甲酸二丁酯(DBP) 0.1%	邻苯二甲酸苄丁酯 (BBP) 0.1%	邻苯二甲酸二(2-乙基己基)酯 (BEHP) 0.1%	邻苯二甲酸二异丁酯 (DIBP) 0.1%
适配器 (AC Adapter)	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
电路板 Circuit Board	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O

O: 该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB 26572-2025规定的限量要求以下。

X: 该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB 26572-2025 规定的限量要求。

O: indicates hazardous substance concentration lower than MCV

X: indicates hazardous substance concentration higher than MCV

环保使用期限（EFUP）

在中国大陆，该值表示电子信息产品中含有的有毒有害物质或元素在正常使用的条件下不会发生外泄或突变，用户使用此产品不会对环境造成严重污染或对人身、财产造成严重损害的期限（以年计）。
该值根据操作说明中所规定的产品正常使用条件而定

Environment-Friendly Use Period (EFUP)

In mainland China, this number indicates the time period (calculated by year) within which any hazardous substances present in the product are not expected to be released such that there is risk to human health, property, or the environment.

This value is assigned based on normal use of the product as described in the operating instructions.

N2040/N2050シリーズスキャナーのEMCに関する声明：

미 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

米国のユーザーへの通知：本機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。操作は次の2つの条件を前提にしています。

1. 本機器は有害な干渉を引き起こさない。
2. 本機器は、望ましくない動作を引き起こす干渉も含め、任意の干渉を許容する必要がある。

法令遵守に責任のある当事者により明白に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。

注記： この装置は、FCC規則のパート15に従ったクラスBのデジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています

.

日本のユーザーへの通知：この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI－B

Kodak alaris

使用されているすべての商標および商品名は、各権利保持者の所有物です。

コダックの商標およびトレードドレスはイーストマンコダック社の許可のもとに使用しています。

© 2026 Kodak Alaris LLC
TM/MC/MR:Alaris
9/26